

(社)日本BGM協会
第20回BGM協会セミナー講演

都市環境の 音サインデザイン

～今、音に求められているもの～

株式会社 LAO 代表取締役
社団法人日本サインデザイン協会音サイン調査研究部会長

山口 泰 氏

株式会社ジーバック
社団法人日本サインデザイン協会音サイン調査研究部会副部会長

前田 耕 造 氏

平成 20 年 1 月 22 日(火) 午後 2 時～5 時
海運クラブ 303 号室 3,000 円

お申し込み・お問い合わせ 日本BGM協会事務局
Tel.03-3234-9668 office@bgm.or.jp URL <http://www.bgm.or.jp>

〒102-0093 東京都千代田区平河町 1-7-5-609
社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会(日本BGM協会)

聴覚環境は、視覚、臭覚、触覚等とともに人間が環境を感受する環境要素として存在しているのです。
そして、他のメディアより周囲の環境への波及力が高いという環境的特徴を持っています。(社団法人日本サインデザイン協会『音サイン導入マニュアル-音サイン導入の手引き-』より)



ここ数年、“BGM”という語が取り上げられる機会が多くなっているように思います。その多くは、個人の生活を潤すBGM、あるいは大規模商業施設での華麗で特徴的なサウンドデザインの話題が中心になっているようです。

一方、音に意味を与えサイン化する、「音サイン」が、デザインの分野から提案されていますが、さまざまな環境にあって適切さをもって、あるいは効果を期待しながら目的の音を流すには、どのような配慮が必要であるか。このことは音サインのみならずBGMにとっても不可欠な基本であると言えます。

今年9月に社団法人日本サインデザイン協会から一冊の本が発行されました。『音サイン導入マニュアル』副題に“音サイン導入の手引き”とある通り、同協会が音のバリアフリーを目指し、10年以上にわたり続けられた研究から生まれました。この著作の発行を受け、今回のセミナーは「音サイン」をキーポイントに、公共空間における音・音楽の在り方の基本に迫ってみたいと思います。

お申し込み・お問い合わせ

社団法人日本バックグラウンド・ミュージック協会(日本BGM協会)

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-7-5 ヴィラロイヤル平河609

Tel.03-3234-9668 Fax.03-3239-0847 電子メール office@bgm.or.jp

~座席数に限りがございますので、お早めにお申し込み下さい。~

会場案内/海運クラブ303号室(3階)

所在地:東京都千代田区平河町2-6-4海運ビル3階 Tel.03-3264-1825

交通:東京メトロ有楽町線・半蔵門線・南北線「永田町駅」下車徒歩3分

次回予告/第21回BGM協会セミナー

***** 次回BGM協会セミナーは、大阪で開催いたします *****

日時:平成20年3月11日(火) 午後2時~5時

場所:ドーンセンター(大阪府立女性総合センター)

大阪市中央区大手前1-3-49 Tel.06-6910-8500

テーマ:音の力と財産

著作権について

『BGMに関する著作権』(仮) 講師/未定(JASRAC大阪支部より招聘予定)

サウンドデザインについて

『都市空間のサウンドデザイン』(仮) 講師/株アモネット取締役 澤田泰輔氏

参加費:3,000円